

多摩市青少年問題協議会  
平成29年度 第2回本会議議事録

【書記】増子

- ◆ 日 時 平成30年2月17日（土） 午前9時30分～10時30分
- ◆ 会 場 市役所301・302会議室
- ◆ 欠席者 萩原委員、南條委員（全2名）
- ◆ 議 題 1 各委員会の報告  
2 事務局報告  
3 情報交換

---

開 会 議長（榊委員）より、現在31名の出席があり定足数に達しているので本会議を開催する旨の開会宣言があった。

会長挨拶（会長 阿部裕行市長）

#### 議題

1 各委員会の報告 \*平成29年度多摩市青少年問題協議会報告書（案）

（1）議事1 青少年健全育成委員会報告（議長 田代委員より）

今年度のテーマは「子どもの見守り」について論議をした。

地域において事件や事故を未然に防ぐ抑止力・防止力向上のために「地域目から地域の目の網へ」というスローガンをののもとに、以下の内容で子どもの見守りについて提言した。

○家庭において

- ・地域の方と笑顔であいさつをしよう。
- ・行事に積極的に参加し、ボランティアとしてもお手伝いしよう。
- ・帰宅時間のルール作りをしよう。

○学校において

- ・地域行事に積極的に参加し、地域との連携を深めよう。
- ・地域への情報発信に努めよう。
- ・教育連携コーディネーターを活用しよう。

○地域において

- ・各団体同士で情報交換し、さらなる連携に取り組もう。
- ・一人ひとりの防犯意識の向上に、地域で取り組もう。
- ・パトロール活動を推進し、活動の持続を工夫しよう。

○行政において

- ・民間協力事業者を開拓しよう。
- ・防犯カメラ設置を推進しよう。

(2) 議事2 表彰選考委員会報告(議長 相馬委員より)

善行青少年として2名・1団体、青少年対策協力者として2名・2団体を受賞者(団体)として選考したことについて報告があった。

(3) 議事3 地区委員会会長会報告(同委員会議長 武内委員より)

地区委員会合同委員研修会については岸本恵子さんから「いじめを考える」をテーマに講演をしていただいた。

全地区委員会が合同で実施する合同夜間パトロールは429人の参加があり、あいさつ運動キャンペーンは747人の参加があった。会長会自主研修会では市福祉総務課職員より、「自殺対策とその対応について」説明をいただいた。

○ 質疑応答・採決

議事1から3までについて、一括して質問を受けたが質問はなく拍手にて「承認」。これをもって、平成29年度多摩市青少年問題協議会報告書(案)は本会議にて可決された。

2 事務局報告

平成29年度多摩市青少年問題協議会年度計画の実施状況について、事務局より報告があった。

青少協だより「多摩のこども」を7月と12月の年2回、「たま広報」に折り込むかたちで発行。インターネットの安全利用のための対策の啓発記事、ひきこもり相談などの青少年に関わる相談窓口などを掲載。そのほか、「家族の日」の啓発や夕やけチャイムの放送、地区委員会の各種活動について報告があった。

また、地区委員会の補助金要綱に基づく「環境浄化活動」という文言は時代に合っていない等という観点から、平成30年度に「環境浄化活動」から「環境整備活動」へと、文言を修正する旨の要綱を改正を行う予定です。

3 情報交換

(1) 関係機関からの情報提供

①多摩中央警察署(多摩中央警察署 生活安全課長 山本委員)より

平成29年は、多摩中央警察署管内で傷害事件などにより少年74人を検挙。一昨年と比較すると検挙数が11人の増加となった。また少年の補導人数は343人となり、昨年と比較して若干の増加となった。そのうち深夜徘徊と喫煙で全体の94%を占めている。

JKビジネスについては規制する条例を制定することで都内のJKビジネスの店舗が大幅に減っている。多摩中央警察管内には現時点ではJKビジネスの店舗は多いが、今後も監視を強めていきたい。

最近若者を取り巻く環境の中で注目を浴びているのが、「自撮り」である。インターネット上で知り合った相手に自分の裸の画像を送ってしまうというケースである。インターネットは世界中に繋がっているので、一度インターネットに出回った画像は100%回収することは事実上不可能であることを知ってもらい、警察としては子どもたちにこのような被害に合わ

いよう指導していきたいとともに、このような卑劣な行為をするよう者を検挙していきたい。

②南多摩保健所（南多摩保健所長 小竹委員）より \*資料1

- ・子どもを受動喫煙から守る条例を平成30年4月1日に施行予定である。  
子どもは自分の意思で受動喫煙を避けることが困難であることから、いかなる場所においても子どもに受動喫煙をさせることのないよう努めていきましょう。
- ・2月28日に「食品ロス」はなぜ生まれるのか」について八王子クリエイトホールで講演を行いますので、ふるって参加をお願いします。
- ・若者を中心に生の鶏肉が原因のカンピロバクターによる食中毒が発生していますので、生肉の食事はできるだけ避けるようお願いします。
- ・梅毒の患者が急増しています。特に10代、20代の女性に増加の傾向がみえますのでご注意ください。

③多摩児童相談所（多摩児童相談所長 坂井委員）より \*資料2

平成28年度の児童福祉法改正により、子どもが権利の主体であること、実親による養育が困難であれば、里親や特別養子縁組などで養育されるよう、家庭養育優先の理念等が規定された。この改正法の理念を具体化するため、検討会において「新しい社会的養育ビジョン」がとりまとめられた。

家庭養育を原則としているため、施設へ入所し、集団で養育をすることから実親による養育が難しいのであれば、里親や特別養子縁組等で家庭での受け入れを促進していく、また、代替養育や集中的在宅ケアを受けた子どもの自立支援を徹底していく。

(2) 市役所からの情報提供

①渡邊 総務部長より \*資料3

平成29年度に市に寄せられた不審者情報は、平成30年1月末現在で34件。昨年度より減少。今年度は6月に不審者情報が突出して多いのが特徴である。曜日としては週末に近づく木曜日、金曜日に件数が多い。また、時間帯としては下校時間に集中する傾向がある。内容としては、声かけ、撮影等が多くなっている。

子どもの安全・安心のためにより一層の見守りにご協力をお願いします。

②須田 教育部長より \*資料4

4月に入学する1年生とその保護者を対象とした「みまもり・ぼうはんハンドブック」を作成中です。

昨年9月、関戸公民館主催の「みんなで育む子ども達の安全力」にて講演いただいた武田信彦先生の講演資料をもとに作成をしている。

武田先生は「うさぎママのパトロール教室」を主催し、一般の方が安全力の向上のコツ、身を守るコツ等を各世代に向けて講演やワークショップを実践し、わかりやすく説明している。

子どもたちを守る3つの安全力は①こどものちから②大人のちから③地域のちからがあり、この3つの力の連携が地域の安全力を高めることとなる。

③芳野 子ども青少年部長より

報告事項が2点あります。

1点目は昨年第一地区委員会会長を退任された瀧川リヨウ子様はその功績によりまして東京都青少年健全育成功労者表彰を受賞されました。また多摩市においては市民表彰を受賞されました。瀧川様は36年間にわたり、地区委員会活動と青少年の健全育成に多大の貢献をされました。現在は第一地区委員会の顧問として活躍されています。

2点目は1月8日に多摩市の成人式がパルテノン多摩で無事行われました。新成人1446名の対象者のうち821名の参加があり、その出席率は56.8%となりました。

副会長挨拶 (副会長 清水教育長より)

**(配布資料)**

- 1 平成29年度第2回青少年問題協議会本会議次第
- 2 平成29年度多摩市青少年問題協議会報告書(案)

資料1 「子どもを受動喫煙から守る条例」他3件 [東京都南多摩保健所]

資料2 新しい社会的養育ビジョン [東京都多摩児童相談所]

資料3 平成29年度不審者情報の傾向(平成30年1月31日現在) [多摩市総務部]

資料4 「みまもり・ぼうはんハンドブックの作成について」 [多摩市教育委員会教育部]